



男女共同参画

男女共同参画社会を目指して

# HARMONY

2010

VOL.54



# ハーモニー〜(広場)

## 特集：女性のチャレンジ

～ あなたのチャレンジ応援します! ～

### 月間特集…………… 23

ハーモニーフォーラムの結果報告  
ハーモニー功労賞の受賞者紹介  
「男女共同参画推進月間」標語入賞者の紹介

### 企業の取り組み…………… 4

保内郷メディカルクリニック

### 団体の取り組み…………… 5

真壁藍保存会のみなさん

### 推進員活動通信…………… 6

笠間市 [田村 幸子さん] / 潮来市 [本宮 洋子さん]

### いばらき掲示板…………… 7

ハーモニーフライトいばらき 2009 結果報告

### 情報広場…………… 8



保内郷病児保育室「ひまわり」の福田祥江さんと次男の寛人くん、保育士の菊池真智子さん。

記事は▶P4



「真壁藍保存会」創設に携わった野澤藤子さん。

記事は▶P5

## チャレンジ支援

「地域活動に参加したい」「起業・再就職したい」など、新しいことに“チャレンジ”する人を応援する制度。「チャレンジ相談」や「女性の再チャレンジ支援プラン」などの活動を行っています。

■チャレンジについてのご質問・お問い合わせは 茨城県知事公室 女性青少年課 029-301-2178まで

# 男女共同参画推進月間特集

毎年11月は「男女共同参画推進月間」です。  
月間中に行われた行事等についてご紹介します。

11月28日(土)に水戸市の県民文化センターにおいて、「男と女・ハーモニーフォーラム2009」を開催しました。

茨城県では、男女が社会のあらゆる分野で、互いの違いを認め合い、互いの人権を尊重しながら、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、共に責任を担うことのできる男女共同参画社会の実現に向けた様々な取組みを進めています。

取組みのひとつとして開催するフォーラムは、男女共同参画の推進に関する活動が積極的に行われるよう、県民や団体・事業者の方々の関心と理解を深めていただくためのものです。

抜けるような晴天の中、橋本県知事、葉梨県議会議長のあいさつに続き、さまざまな分野において男女共同参画の推進に取り組み、功績のあった個人・団体及び事業所の方々に對しての「男と女・ハーモニー功労賞」と、「男女共同参画推進月間」の趣旨を広く県民の皆さんに理解いただくための標語の入賞者に対する表彰が行われました。

また、元日本テレビアナウンサーで記者としても活躍された、藪本雅子氏から「働くということ」アナウンサー、記者、専業主婦を経て「仕事と家庭の両立」の困難な状況の体験から、現在の境地に至るまでの経験を通してのご講演をいただきました。

## 藪本雅子氏講演概要

藪本雅子氏は、13歳の時にスカウトされ、京都から単身上京して芸能界入りをしました。無理なダイエットを重ねて摂食障害となりながらも、大学在学中に「おはよう茨城」のレポーターとして県内の取材を経験されています。

大学を卒業し、日本テレビに入社後、すぐに人気アナウンサーとなり、さまざまなバラエティ番組を担当されましたが、馴染めず、報道アナウンサーに担当が変わっても、自分の意見の言えない仕事に葛藤を覚えて、記者に転身されました。

社会部記者として激務をこなされながらも、やりがいを感じて仕事をされたとのことでした。氏は、記者という男性社会の職業に採られながらも、ハンセン病問題と出会い、特集番組の放送にこぎ着けるまで精力的に仕事をされました。

その後、政治部記者に異動となり、政治部という仕事に興味を感じられなかったことや、結婚したことによって専業主婦となり、家事・育児を経験しながらも、社会に出たいという思いから、現在は大学院で勉強する道を進まれています。

氏は、一般的に言われる「ワーク・ライフ・バランス」とは正反対の「ワーク・ライフ・アンバランス」な生活を送ってきましたが、自分にとっては「ワーク」と「ライフ」は別々のものではなく、「ワーク」が「ライフ」であり、「ライフ」が「ワーク」であるとお話をされていました。



## 「男女共同参画推進月間」 標語入賞者の皆さん



寺内 遥 様(写真前列右)  
鈴木 盛雄 様(写真前列左)  
  
(写真後列右から)  
吉川 輝 様  
大川 将希 様  
内山 英雄 様  
安藤 幸江 様

【最優秀賞】  
常陸太田市 鈴木 盛雄 様

【優秀賞】  
■学生の部  
古河市 寺内 遥 様(小学生)  
茨城町 吉川 輝 様(中学生)  
鹿嶋市 大川 将希 様(高校生)

■一般の部  
神栖市 安藤 幸江 様  
潮来市 内山 英雄 様

なお、入賞作品は「ハーモニー広場第53号」で紹介させていただきました。

県では、職場や地域、家庭などにおける男女共同参画への関心と理解を深め、様々な活動が積極的に行われるよう、県男女共同参画推進条例に基づき、毎年11月を男女共同参画推進月間と定めています。

# ひと ひと 「男と女・ハーモニー功労賞」 受賞者の皆さん

男女共同参画の推進に功績のあった個人・団体・事業所の方々に「男と女・ハーモニー功労賞」が贈られました。



県では、県民や事業者等の皆様方に、男女共同参画についての理解と関心を深めていただくため、毎年11月を「男女共同参画推進月間」と定めており、これに合わせて、男女共同参画の推進に功績のあった個人・団体・事業所の方々に「男と女・ハーモニー功労賞」を贈呈しています。

平成21年度の「男と女・ハーモニー功労賞」は、「個人の部」3名、「団体の部」2団体、「事業所の部」2事業所の計7組が選ばれ、平成21年11月28日(土)に開催された「男と女・ハーモニーフォーラム2009」の席上で、橋本知事から表彰状が授与されました。

## 個人の部

### 外岡 郁子氏(写真前列左)

県の研修等を受け起業し、地元産小麦粉や古代米を使用したパンを販売する店を開店。水戸市の男女共同参画会議にも参画し、男女共同参画の推進に取り組んでいる。

### 中山 みつい氏(写真前列左から二番目)

牛久市の男女共同参画後期実施計画の策定や家族経営協定の締結、食育の推進など、農林水産分野を中心とした男女共同参画の推進に取り組んでいる。

### 平田 洋子氏(写真前列右)

前うららフレンドハウス会長としての活動のほか、土浦市教育委員長や女性プラン21推進委員会委員として、土浦市の男女共同参画の推進に取り組んでいる。

## 団体の部

### 古河市地域女性団体連絡会(写真後列左から二番目)

地域子育て支援事業「ゆりかご」を実施しているほか、市や県の行事への協力・参加などを行い、地域活動に取り組んでいる。

### 取手市女性活動企画員会議(写真後列左から三番目)

研修会・学習会の開催や広報誌の発行などを通じ、男女共同参画の推進やまちづくりに取り組んでいる。

## 事業所の部

### 株式会社セントフォローカンパニー(写真後列右から二番目)

パート職員も育児休暇を取得できる制度を独自に実施しているほか、短時間勤務制度の導入や女性管理職の登用など、女性の働きやすい職場作りに取り組んでいる。

### 社会福祉法人泰仁会(写真後列右)

21世紀職業財団より「職場風土改革推進事業実施事業主」の指定を受け、事業所内託児所の整備や育児休暇制度の拡大など、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる。

# 女性のチャレンジ ～あなたのチャレンジ応援します!～

人生のやりがいを見つけるため「何かをはじめたい」と思っても「何からはじめればいいのか分からない」ことが多いもの。さらに、結婚や出産による離職を経験した女性にとって再就職が難しいという現実もあります。でも、あきらめることはありません!今回ご紹介する“チャレンジ人”の生き生きとした姿を参考に、みなさんも“新しい何か”をはじめてみませんか?

## チャレンジ

## 企業の取り組み

働くお母さんの悩みを解決

## 病児保育室の

## 開設にチャレンジ!

保内郷メデイカルクリニック

保内郷病児保育室ひまわり 福田祥江さん



大子町にある保内郷メデイカルクリニック。その施設内に、病児・病後児を一時的に預かる「病児保育室ひまわり」があります。この事業を立ち上げた福田祥江さんは、同クリニックで主任を務めるワーキング・マザー。保育室開設のきっかけは、4年前に「ハーモニーカレッジ」(※男女共同参画推進の担い手となる人材を育成する県の事業)を受講したこと。「講義やディスカッション、

様々な方との交流を通して、「自分も何かはじめよう!」と強い刺激を受けました。育児をしながら働く母親として、そして看護師として、地域支援や子育て支援のためにできることを考えたとき、自然とこの病児保育室の構想が浮かんだのです」と語ります。



仕事柄、病児保育という事業があることは以前から知っていたという福田さんですが、実際に立ち上げ、運営していくためのノウハウや知識はゼロ。全国の施設の様子を調べたり、役所などの各機関に問い合わせたり、立ち上げの準備だけでも大変な

苦労があったそう。法律関係の課題をクリアした後も、病室を改装しての保育室づくりやスタッフの募集・育成、体制づくりなど、やるべきことは山積み。しかも当時二人目のお子さんを妊娠中だったこともあり、産休・育休をはさんで準備だけで約1年を費やしました。「子どもの具合が悪いときに、一人で家に残して仕事に行かなくてはいけない辛さや不安は、自分自身も実感していました。さらに、同じく働きながら子育てをしている友人から、「仕事から帰って玄関を開けるときの音が怖い」という声を聞き、「一刻でも早く始めなくてはと気持ちばかりあせったのを覚えています」と、準備期間を振り返ります。

そして、平成19年1月に念願の事業開始。早朝の申込みにも対応できるよう、夜勤明けのスタッフに対応してもらおう体制を整えたり、規則の改正によって常駐の保育士が必要になったりと、開設後も苦労の連続。同年4月には大子町の委託事業になり、資金面の課題は軽減したものの、まだまだやるべきことはたくさんあるそう。「利用者の声をフィードバックするシステムがまだないので、よりよい事業にするため、アンケートなども行った

いと考えています。また、困っているお母さんにこの保育室の存在を知ってもらうための広報活動も大切。病院内の施設という安心感を活かしつつ、時間外の受け入れなど柔軟なサービスを充実させていきたいです」と語る福田さん。働く母親の心強い味方になれるよう、更なるチャレンジが続きます。

### 保内郷病児保育室「ひまわり」

住所：大子町大子824

保内郷メデイカルクリニック内

お問い合わせ：0295-72-0179

対象：大子町在住、もしくは保護者が大子町で勤務している生後2ヶ月～小学6年生までの小児

◎病児・病後時保育とは

子供が病気療養中、または病気の回復期にあり、保護者が勤務の都合等で家庭における保育や集団保育が困難な状況にあるとき、子どもを一時的に預かる事業。



自然色に魅了されて

## 伝統文化「藍染め」への

## 終わりになきチャレンジ!

### 真壁藍保存会のみなさん

「真壁藍保存会」のみなさんは、旧真壁町の伝統文化である「藍染め」のすばらしさを伝承しているこうと日々活動に励んでいます。

会長の多田郷(こう)さんや会員の野澤藤子さんは、藍染めの体験講座への参加をきっかけに、平成13年の同会創設初期から活動に携わり、今では45人の会員が活動に参加しています。

「退職して時間に余裕ができて、何か新しいことを始めたいな。」そう漠然と思っていたころ、タイミングよく講座が開か



れ、藍の持つ独特の色に魅せられました」と語る野澤さん。幼いころから藍染めの服などが身近にあったことから、新たなチャレンジの世界にすんなり入れたそうです。

美しい色彩を持つ藍染めですが、最初は手探りの状態でした。「乾燥した藍の葉を発酵させると染色液ができあがります。最初は、どの状態が発色させるのにベストなのか分からず、ほぼ一日つきっきりで様子をみていました」と多田さんは当時の苦労を振り返ります。藍の染色液は生きているため、毎日かき混ぜないと腐敗してしまうそうですが、会員のみなさんが交代で管理するなど、チームワークも抜群です。

また、会員の多くはもともと「ものづくり」が好きなため、バックや洋服等それぞれの得意分野をお互いが教えあって切磋琢磨しています。



今では、幼稚園や小学校の総合学習教育に協力したり、体験講座や作品の展示会を開いたりするなど、活動の幅を広げています。体験講座では、その日のテーマに合った得意分野を持つ会員が交代で指導にあたり、参加された方の要望を取り入れて今後の講座のテーマを決めていくなど、リピーターを増やせるよう柔軟に対応しています。参加者のほとんどが主婦のため、場の雰囲気盛り上げるのは、やはり女性会員。「ムードメーカー」のような方が多くて助かり

ます」と笑顔で語る多田さん。しかし、大きな課題があります。それは次世代の担い手です。「自分たちができることは地道に普及していくこと。学校教育等で若い世代に藍染めの良さを伝えていく中で興味を持つ人が出てくる。経験を積んでいくうちに頭角を現す人が出てきて會長を引き受けてくれる人が現れると思う。その時を待ちたいと思います」と多田さんは言います。そのため、これまで平日にも開催していた講座を土曜日にも開催するなど学生も参加しやすいように配慮しています。

「藍で染めたものは二つとして同じものはない。毎回違う顔を見せてくれる」そこが作り手の意欲をかき立てる最大の理由なのかもしれません。計り知れない「自然」のもつパワーに魅了されながら、これからも真壁藍保存会のみなさんのチャレンジは続きます。

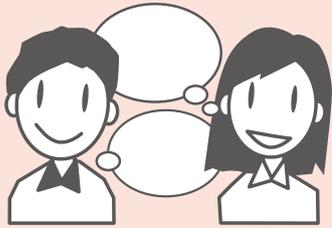


女性プラザ男女共同参画支援室では、再就職や起業、キャリアアップ、地域活動など、さまざまなことに「チャレンジ」した方を応援する「チャレンジ相談」を無料で行っています。「何かを始めたい!」と思った方は是非ご相談ください。

相談日時 月曜～金曜(9:00～17:00)※要予約

電話/029-233-3982 HP / <http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>

POINT



# いま、自分にできること

## 推進員活動通信

「より自分らしく生きられる」まちづくりのために、  
実現に向けた身近な活動をご紹介します。

### 男女共同参画ヤングリーダー会議で 学んだこと

#### 全国の代表者で 男女共同参画の研修を

11月12日、13日の二日間にわたって内閣府主催の「男女共同参画ヤングリーダー会議」に茨城県の代表として参加してきました。

一日目は、実践女子大学教授の鹿嶋敬氏による、農家の家族経営協定の勧めや専業主婦にも定年退職を、気軽に悩みを語り合える女性版「おやじの会」の提案等の講演でした。

二日目の班別発表の場では、私の所属するネットワークかさまの取り組みの一つである、男女共同参画や環境をテーマにした「紙芝居」等を紹介しました。また、班別討議では、男女共同参



紙芝居を披露する田村さん

笠間市 田村 幸子さん



班別討議のメンバー

画を進める上での効果的な活動のあり方をテーマに討議した結果、「本当の官民協働の実現」が必要不可欠ではないかという結論に達し、班の代表として福島男女共同参画担当大臣に「内閣府の職員からまず意識改革を」と提唱して頂くことができました。

#### 未来のために

この会議を通して、全国の男女共同参画の推進に尽力している皆さんから大いに刺激を受け、ネットワークかさまは、一層未来を担う子供達に紙芝居や遊びを通して男女共同参画を語り伝えなくてはならないと再認識しました。

この経験を今後の推進員としての活動に活かし、もっと視野を広げて活動していきたいと思っています。

### 潮来市の男女共同参画社会の 実現に向けて

#### 推進員としての 知識を活かして

私は、これからの潮来市の目指すべき方向や取り組みについて、語り合い提言を行う「まちづくり委員」として、四つの分科会の一つに属しています。分科会が出た女性の自立とサポート、教育・家事・仕事の両立等の意見を市長に提言しました。

また、女性リーダー育成事業のITAKOKOオリティーウイメンズネットの団員として、女性の社会参画促進等を目的とした女性議会や振興計画審議会のワークショップで意見を述べるなど、推進員としての知識を活かしています。



まちづくり委員会分科会の様子

潮来市 本宮 洋子さん

#### 男女共同参画社会を 身近なものに

市では、市内の公共施設や喫茶店等の身近な場所でもコーヒーを飲みながら専門家と市民が男女共同参画社会について気軽に語り合える場として、「Eクオリティーカフェ」を年四回開催しています。私は、そこで出た様々な意見をまとめ、広報いたこやホームページに掲載しています。また、Eクオリティーカフェ事業の中で、より男性に男女共同参画の意識を持つってもらうため、年一回「男の料理教室」を開催し、広報のお手伝いをしました。



KJ法で問題の洗い出しをする本宮さん

男女共同参画はまちづくりです。潮来市がより良いまちになるよう今後も様々な場に出た意見を取りまとめて市に報告し、男女共同参画社会の実現に力を注いでいきたいと思います。

地域で活躍する女性リーダーを育てるために、  
県が行う事業をご紹介します。

# いばらき掲示板

イベント  
レポート

## 女性の海外派遣事業 「ハーモニーフライトいばらき2009」

～ 団長及び14名の団員がオランダとフランスを訪問 ～

県では、国際的視野と指導力を持った女性リーダーを育成するため、女性の海外派遣事業を実施しています。今年度は「ハーモニーフライトいばらき2009」として、村田昌子団長（(社)茨城県看護協会会長）以下14名の団員が、10月25日（日）から31日（土）までの7日間、オランダとフランスを訪問しました。

オランダでは、女性団体組織を訪問し、社会の各分野への女性の参画状況や女性人材の育成における課題などについて学びました。また、教育施設や環境施設において、優れた取組を視察しました。フランスでは、市役所を訪問し、男女共同参画の推進状況や福祉施策の状況を研修しました。その他、両国で、公共交通機関や化粧室等を調査し、さまざまな視点から海外事情にふれることができました。

研修の成果は、平成22年2月18日（木）に県民文化センターで開催される「ハーモニーフライトいばらき2009報告会」で発表されます。



フランス マラコフ市役所前にて



オランダ 女性団体NVRの視察の様子

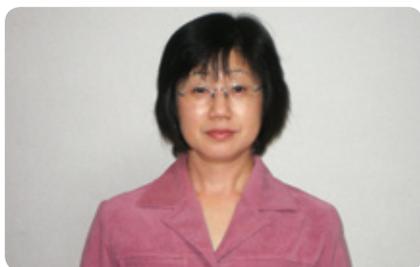


オランダ エスプリ学校の視察の様子

### ～ 団員の声 ～

#### 南 成子さん(神栖市)

“持続可能な環境”が地球規模での最重要課題とも言うべき昨今、二十一世紀は“水”の時代です。しかも飲料水として使用できる“安全な水”は地球上の水の0.01%しかないと言われています。私たちは、水と戦い、共存共生してきたオランダの環境問題への取組に大きな感銘を受けました。



#### 糟谷 千枝子さん(土浦市)

今まで活字でしか知ることのなかったオランダ・フランスの歴史、文化、生活に直接触れることができました。中でもオランダは、歴史的建造物を守りながらも、斬新でモダンなデザインの建築物が目立ち、一見すると対極するものがバランスよく融合し、魅力あるものに感じました。

#### 鈴木 久美子さん(坂東市)

オランダやフランスでは、労働時間の見直しや出産費用・育児体制の援助など、国全体で女性の社会進出を支える取り組みをしていました。男女ともにワークライフバランスを見直し、仕事も家庭生活も充実しているようでした。



## ◇「茨城県男女共同参画推進員」を募集します!◇

県では、平成16年度から公募により「茨城県男女共同参画推進員」を委嘱し、県内各地域で男女共同参画の基本理念などの普及啓発を図っています。現在、県内各地で159名の方に推進員として活動していただいております、男女共同参画広報誌の配布、県の事業への協力など、さまざまな普及啓発に取り組んでいただいております。

このたび、平成22年度から新たに活動していただく推進員を募集することといたしましたので、県の取組にご協力いただける方は、ぜひご応募ください。

- 応募資格 県内在住の20歳以上の方で男女共同参画を理解し、活動の意欲のある方
- 応募期間 2月22日(月)～3月26日(金)
- 応募方法 申込書とレポートを茨城県知事公室女性青少年課あてご提出ください。  
※申込書の様式は女性青少年課ホームページからダウンロードできます。
- お問い合わせ先 詳しい応募方法や活動の内容につきましては、下記までお問い合わせください。  
茨城県知事公室女性青少年課 男女共同参画担当  
〒310-8555 水戸市笠原町978-6  
TEL 029-301-2178 FAX 029-301-2189 E-mail josei1@pref.ibaraki.lg.jp

## ◇ 女性プラザ男女共同参画支援室のご案内 ◇

### <チャレンジ相談>

再就職や起業、キャリアアップ、地域活動などのさまざまなことにチャレンジして新しい可能性を切り開いていこうとしている方に対する相談助言や情報提供等を行っています。

- 相談日時：月曜日～金曜日 9：00～17：00
- 相談方法：面接(要予約)、電話、FAX、Eメール

### <法律相談(弁護士)>

- 相談日時：第2金曜日 13：00～16：00
- 相談方法：面接(要予約)

### <仕事と心の相談(産業カウンセラー)>

- 相談日時：第1,3金曜日 9：00～17：00
- 相談方法：面接(要予約)

### <総合相談>

家族、夫婦、学校、職場、地域等での悩み事などや男女共同参画に関する苦情や意見など、お気軽にご相談ください。  
TEL 029-233-7837

## ○男女共同参画チャレンジ支援セミナー

### 「身近な課題で自分活かし! ～コミュニティ・ビジネスという新しい働き方～」開催!

今までの経験から得た知識やノウハウを地域社会で活かしたいと考えている方、ビジネスの手法を使って収益を上げ、地域で困っている課題解決に継続的に取り組んでいくためにコミュニティ・ビジネスについて学びませんか?

いきいきと活動している方々の体験談を聞きながら、自分らしい生き甲斐のある「ライフワーク」について考えるミニシンポジウムを開きます。

[日 時] 平成22年2月17日(水) 13:30～15:30

[講 師] (講 演) コミュニティ・ジョブセンター茨城 代表 横田 能洋さん  
(特定非営利活動法人茨城NPOセンター・commons 常務理事・事務局長)

(事例発表) 特定非営利活動法人ユーアンドアイ 代表 佐藤 真智子さん  
ふれあい貸し農園 とまと倶楽部 代表 田尻 英美子さん

[参加費] 無料

[募集人数] 50名(先着順)

〈お申込み・お問い合わせ先〉

### 女性プラザ男女共同参画支援室

〒310-0011

水戸市三の丸1-7-41 いばらき就職支援センター(ジョブカフェ)3階

TEL: 029-233-3982(サンキューハーモニー) FAX: 029-233-1330

E-mail: josei1@pref.ibaraki.lg.jp

- ・水戸駅から日立方面に向かって徒歩約10分。
- ・車でお越しの方は三の丸庁舎(旧県庁舎)の駐車場をご利用ください。無料利用券をお渡しいたします。

